

だもの、それ以外の月は一貫して伸びている。10月もプレスハム1020ト(4.7%増)、チヨップドハム1531ト(5.4%増)で、プレス類は2553ト(5.1%増)と大きく伸びる。

ベーコン類も7715ト(1.9%増)と堅調で、年前半の減少傾向から増加に転じた。とくに主力のパラベーコンは7115ト(3.4%増)と製品群全体をけん引している。一方でシオルターベーコンは453ト(17.0%減)と不振を続けているのが気になる。

ソーセージ類は2万7509ト(2.8%増)と好調さを維持している。10月はポロニアソーセージが1668ト(15.7%増)と躍進したのが目立った。主力のウインナーは2万520ト(2.2%増)と好調で、フランクフルトも3128ト(7.6%増)と伸びが続いている。

るために、和牛肉創作料理店をバンコクにオープンする。そこで提供される料理は、しゃぶしゃぶ、すき焼き、ステーキを中心とした創作料理で、和牛肉の素晴らしさと旬の日本産野菜を中心、タイの人たちに日本文化に触れられる空間を提供する。

会場で説明にあたっていたミートコンパニオンの植村光一郎常務取締役は「今回は埼玉県を代表する深谷ねぎ5キロと和牛肉ですき焼きを試食してもらい多くの反響をいただいた。このすき焼きをどこで食べられるのかという質問が多く寄せられたが、春にオープンする本格レストランを紹介することができ、日本を味わってもらえることは非常にうれしいことだ」と述べた。

品に印刷または添付している「米久ロゴ」を3枚送ると抽選で500人にプレゼント。米久ロゴの入ったすべての商品が対象で、期間中は一部コンシューマー商品のパッケージをキャンペーン仕様に変更する。

②では映画とタイアツプした「御殿場高原あらびきポーク」の新テレビCMを2、3月に全国規模で放映予定。とくに関東エリアには2月に集中放映し、同キャンペーンについても告知。映画自体のPRと合わせて、対象にしたシビレを二重にする。

③では、スーパーでの試食販売などの販促施策を全国規模で展開。消費者との接点を積極的に活かしていく。

④では映画とタイアツプした「御殿場高原あらびきポーク」のトラックを2、3月に全国規模で放映予定。とくに関東エリアには2月に集中放映し、同キャンペーンについても告知。映画自体のPRと合わせて、対象にしたシビレを二重にする。

タイで和牛肉試食に

大使館が天皇誕生日で

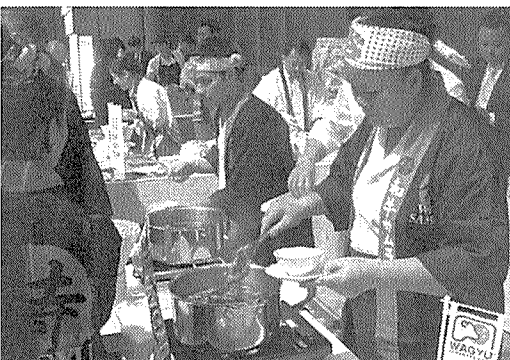
昨年12月11日に在タイ日本国大使館主催の天皇誕生日レセプションが、バンコクのグランドハイアットホテル・エラワンで行われた。このレセプションは大使館が行う最も盛大なもので、タイの高級官僚、優良企業トップや在タイ日本法人代表らが招待され天皇誕生日を祝い、日本国とタイ王国の親善を図る年末のイベントだ。

と埼玉県が積極的にPR活動を展開しており、岐阜県は「飛騨牛」のロースを7キロ用意してステーキで試食提供し、埼玉県は「彩さい牛」のロース26キロをすき焼きで提供した。

新規にオープンする和牛肉創作料理店のスタッフ合わせて14人態勢で800人分のすき焼きを振る舞った。ミートコンパニオンは、今春に和牛の提供方法や日本の食文化を広め

会場には約1500人がお祝いに駆け付けた。このレセプションには日本政府機関、各県代表と日系進出企業が23のブースで展示や試食を行ってその特徴を競った。和牛肉のアピールでは岐阜県

とくに埼玉に、埼玉県は和光市に食肉処理場(アグリ)ス・ワソンをもつミートコンパニオンが応援に駆け付け、現地法人と



和牛のステーキ、すき焼きが提供された

創業50周年を記念し

全国でプロモーション

米久は先ごろ、平成27年2月期第3四半期決算と創業50周年を記念した全国プロモーションに関する記者会見を東京都中央区の東京証券取引所で開催した。

会見では、奥田英人取締役常務執行役員経営企画室長兼商品本部管掌が決算概要について説明。セグメント別では加工品事業、食肉事業ともに好調だったが、とくに食肉事業は営業利益21億2800万円と、前年同期(1億2000万円)を大幅に上回った。

また、通期の業績予想について営業利益47億円(前回予想37億円)、経常利益52億円(42億円)、当期純利益36億円(27億円)にそれぞれ上方修正した。

奥田常務は好調な決算の要因に「和牛肉創作料理店をバンコクにオープンする。そこで提供される料理は、しゃぶしゃぶ、すき焼き、ステーキを中心とした創作料理で、和牛肉の素晴らしさと旬の日本産野菜を中心、タイの人たちに日本文化に触れられる空間を提供する。」

会場では、奥田英人取締役常務執行役員経営企画室長兼商品本部管掌が決算概要について説明。セグメント別では加工品事業、食肉事業ともに好調だったが、とくに食肉事業は営業利益21億2800万円と、前年同期(1億2000万円)を大幅に上回った。

また、通期の業績予想について営業利益47億円(前回予想37億円)、経常利益52億円(42億円)、当期純利益36億円(27億円)にそれぞれ上方修正した。



会見に臨む奥田常務(左)と藤本事業部長

2日間で190頭を上場

南大阪市場が冬季

昨年12月5日、12日の2日間、大阪府松原市の南大阪食肉市場で2014冬季枝肉共助会が開催された。5日には和牛59頭、交雑牛41頭が出品され、高田伸次さんの出品牛(和牛去勢、格付A5、枝肉重量497.9キログラム)が近畿農政局長賞を受賞し、せりでは欄村上商店がキロあたり2773円で落札。

12日開催では和牛42頭、交雑牛48頭が出品され、球磨地域農業協同組合・平山茂さん出品牛(和牛去勢、A5、495.4キログラム)が農政局長賞を受賞、北田産業が3005円でせり落とした。

日本ハムグループの宝幸(株)は昨年12月18日、東京都品川区の本社会議室で年末記者会見を行った。14年3月期は増収減益、売上高は前期比6%増・520億円を見込んでいる。来期は4月1日に子会社の日本ドライブ

だいた、このすき焼きを文化に触れられる空間を提供する。会場では、奥田英人取締役常務執行役員経営企画室長兼商品本部管掌が決算概要について説明。セグメント別では加工品事業、食肉事業ともに好調だったが、とくに食肉事業は営業利益21億2800万円と、前年同期(1億2000万円)を大幅に上回った。

また、通期の業績予想について営業利益47億円(前回予想37億円)、経常利益52億円(42億円)、当期純利益36億円(27億円)にそれぞれ上方修正した。

奥田常務は好調な決算の要因に「和牛肉創作料理店をバンコクにオープンする。そこで提供される料理は、しゃぶしゃぶ、すき焼き、ステーキを中心とした創作料理で、和牛肉の素晴らしさと旬の日本産野菜を中心、タイの人たちに日本文化に触れられる空間を提供する。」

一つステーキ

日本ハムグループ

日本ハムグループの宝幸(株)は昨年12月18日、東京都品川区の本社会議室で年末記者会見を行った。14年3月期は増収減益、売上高は前期比6%増・520億円を見込んでいる。来期は4月1日に子会社の日本ドライブ